

ハートフル | イベント・ワークショップ(単発) 入賞4

「DomaHut」:学生のアイデアでつくる小屋内の土間庭空間
 ~第1回ポラス・学生建築コンペティション応募作品の実邸化プロジェクト~
 ポラスガーデンヒルズ(株)(千葉)、ポラス(株)(埼玉)



概要 学生対象の建築アイデアコンペの優秀作品をアイデアレベルで終わらせず、空間の心地良さと新しさ・着眼点・実現性・テーマの訴求性・事業性の各項目と照らし、「もうひとつの連なる家」という案を描いた学生と協同し、実物件化に着手。現しの木構造を大胆に表現した小屋内の土間庭空間で、あたたかみのある空間を提供する。

評価ポイント 学生のアイデアコンペの作品を実際に建てるという実験的かつ意欲的な試み。木のある暮らしをユーザー目線で提案したことで顧客に対する説得力も増している。

【費用(参加費・入場料など)】建築物件の予想販売価格:5,000万円台
 【体験・入手方法(連絡先)】問い合わせ:ポラスガーデンヒルズ 東葛事業所 0120-993-930

ライフスタイル | ビジネスモデル 入賞1

オーダーメイドのDIYキット制作サービス Storio Design
 ストリーオ(株)(新潟)



概要 ユーザーのイメージから家具などのDIYキットを設計・販売するサービス。メール等で送られてくるスケッチや設計図を元に、設計、見積り、製作までを支援。失敗しないDIY、完成度の高いDIYを実現する。キッチン周りをDIYする主婦、オーディオ趣味の男性など、様々な木工DIY需要に応えている。

評価ポイント 木のある暮らしの彩りを自分でコーディネートできる。地域材を使用したDIYキット制作サービスをシステム化した点に独自性がある。

【費用(参加費・入場料など)】1,000~300,000円 板1枚から壁面収納まで、制作するDIYキットにより様々
 【体験・入手方法(連絡先)】ネットサービス <http://www.storio.co.jp/design/index.htm>

ハートフル | イベント・ワークショップ(定期開催) 入賞5

キミのつくえ(家族で学習デスク作り体験)
 (株)トイロ(広島)、地域デザイン研究所(広島)、ハンクラデザイン(広島)



概要 家族で木の伐採から製材、家具製造の見学を行う中で生産者の想いを聞いた後、つくえ作りを体験する。物作りの大変さを知り、感謝の気持ちや愛着をもって物を大切に作る気持ちなど豊かな感性を育むと同時に、環境保護の意味を伝え、子ども達へ日本の豊かな自然の恵みを大切にしたいという想いや活動を次世代へ繋げる企画。

評価ポイント 3日間にわたり、山の見学から製材、家具工場で学び、自分の机を製作する。まさに世界にひとつのマイ・デスクづくりで、川上・川中・川下からユーザーまでをすべて知ることができる。

【費用(参加費・入場料など)】つくえの通常販売価格(ECで購入可能)と同額の168,000円で、森林や各工場の見学、つくえ作成費、3日間の食事代まで含む企画(宿泊代含まず。また回によって多少内容変更あり)
 【体験・入手方法(連絡先)】家具の里のWEBサイト内「キミのつくえ」案内ページより問い合わせ、参加応募。その後メールや電話等で詳細のやり取りを行う。当日は開催場所へ現地集合、3日間の体験を終えて現地解散。

ライフスタイル | 仕組み・ネットワーク(生産・加工・流通・販売をつなぐもの) 入賞2

kihada黄金の樹プロジェクト
 小谷村キハダ生産組合(長野)



概要 皮を剥いて活用するが、材を捨ててきた小谷村のキハダ。「そんなことは我々には考えられない。キハダは高級材として扱っていますよ。」と木材販売関係者の発言を契機に、林業、製材、木工、道の駅、学校及び行政関係者が連携して、キハダ材とともに小谷村の豊富な広葉樹資源の活用を進めている。

評価ポイント 森林所有者、林業関係者、製材や木工、道の駅、学校、行政が連携、キハダの可能性を引き出し付加価値を与えるプロジェクト。キハダの活用アイデアを皆で持ち寄り、製品だけでなく価値を伝える工夫も共創している。

【費用(参加費・入場料など)】2,500,000円(総事業費)
 【体験・入手方法(連絡先)】道の駅小谷(コースター販売)、小谷村キハダ生産組合(小谷村役場観光振興農林係内)

ハートフル | イベント・ワークショップ(定期開催) 入賞6

国産ヒノキを使ったミニチェアづくりを通じた全国各地での木育活動
 すてきナイスグループ(株)(神奈川)



概要 熊本県や大分県、宮崎県産のヒノキのミニチェアをトンカチやドライバーを使って作成するお子様を対象とした木工体験イベントを、全国で開催するイベントや本社ビルなど各地の拠点などで開催。美しい木肌や香り、硬さなどの特徴を感じながら、人や環境に優しい木材にふれてもらうことで、木を使う文化や意義を学ぶ。

評価ポイント 各地で開催している木材・住宅に関する大型イベントでの開催に加え、横浜市教育委員会が毎年開催している職業体験イベントでも実施、規模の大きさ、体験者数の多さに加え、木工の入り口として楽しいプログラムである。

【費用(参加費・入場料など)】材料費500~1,000円
 【体験・入手方法(連絡先)】木材製品市場での一般消費者向けイベント、全国5カ所で開催する木材総合イベント「木と住まいの大博覧会」の「木育」コーナー、横浜市教育委員会主催「子どもアドベンチャー」(年1回開催)の弊社プログラムで開催

ライフスタイル | 教育・研修システム 入賞3

カマタマルシェ
 日本工学院専門学校(東京)、(特非)山の自然学クラブ(東京)、仮設相川運動公園団地仮設自治会(宮城)



概要 木材で地域イベントや被災地支援に必要な家具や展示用什器を制作するプロジェクト。被災地の高台移転地造成時に伐採される樹木から始まり、製材、木材加工、調整、イベント展示、要望聞き取り、家具の改良、引き渡しという流れをすべて体験することで木材の特徴や問題点を理解する。同時に地域貢献と被災地支援を行う。

評価ポイント 学生がものを作り上げていくプロセスで木の可能性や使われ方を学ぶ人材育成プログラム。地元・大田区との連携で製作した展示什器を使ってもいい、利用者の声までも聞ける点が秀逸。

【費用(参加費・入場料など)】学校の授業の一環のため設定なし
 【体験・入手方法(連絡先)】おおたオープンファクトリー(大田区)、宮城県石巻市北上地区十三浜相川子育て支援センター、復興まちづくり情報館北上館(石巻市)、連絡先:日本工学院専門学校建築学科・建築設計科 洪田

ソーシャル | イベント・ワークショップ(単発) 入賞10
ちくらす(女子大と工業大学の合同コンペによる木製品開発)
 西日本工業大学(福岡)、西南女学院大学(福岡)、京築地区森林・林業推進協議会(福岡)、Drawing Heads(福岡)



概要 マーケティングを専門とする女子大とデザインを専門とする工業大学による「合同コンペ」(通称「合コン」)による、木材利用の商品開発プログラム。コンペで評価された上位作品を地域の木工作家が試作、地域の百貨店で展示を行い、商品化に向けた改良を進めている。

評価ポイント 消費者目線で木材の新たな使い方提案、製品開発を共同で手掛ける独自性のあるプログラム。試作品を通じ、さらに消費者の声を聴き、新たなアイデアに結びつける継続性が重要なポイントだ。

【費用(参加費・入場料など)】展示閲覧無料
 【体験・入手方法(連絡先)】西日本工業大学(北九州市小倉北区室町)地域連携センターにて常設展示中。問い合わせ:西日本工業大学石垣研究室 093-563-3507

ハートフル | イベント・ワークショップ(定期開催) 入賞7
屋久杉玉磨き
 アートフル舎「なーや」(鹿児島)



概要 海岸に流れ着いた樹齢一千年を越す屋久杉の流木を事前に荒磨きし、一つ選んで6段階の紙やすりを使い分け磨き光らせるワークショップ。無垢の木との触れ合いや、参加者お互いの木を磨き合う時間は木を通じて人と人が触れ合う時間にもなっている。小学低学年からご年配の方まで幅広く参加できる。

評価ポイント 海岸に流れ着いた屋久杉という物語性に着目した独自性あるワークショップ。木と触れ合い磨く体験が、今後も木との接点を増やし、木の魅力を再認識させてくれるだろう。

【費用(参加費・入場料など)】参加費 約5,000円(材料費、アクセサリ用素材、講師料含む)
 【体験・入手方法(連絡先)】<https://artfulsha.jimdo.com/>屋久杉玉磨き/
<https://www.facebook.com/naoya.satou.5> artfulsha@gmail.com

ソーシャル | イベント・ワークショップ(単発) 入賞11
永福小プロジェクト
 相坂研介設計アトリエ(東京)



概要 建築家が、卒業した小学校や後輩たちに恩返しした8年間のデザイン活動。少子化による校舎改築で伐採されたシンボルツリー2本の保存活用と、課外学習ベンチの計画。親や教師だけでなく、卒業生など間接的に子どもに関係をもつ大人が職能を活かして接することで、彼らに将来の様々な選択肢を思い描かせることを目指した。

評価ポイント 小学校にあった樹木を、子どもや卒業生の記憶に残る形でリデザインした。壁面彫刻やベンチに触れることで、同様に日常の暮らしにある木材にも思いを馳せるようになるだろう。

【費用(参加費・入場料など)】無料
 【体験・入手方法(連絡先)】杉並区立永福小学校 東京都杉並区永福2-16-33

ハートフル | 普及・啓発(ツール・メディア) 入賞8
トーセン学習帳
 (株)トーセン(栃木)、FOREST MEDIA WORKS Inc.(岐阜)、丸橋企画(株)(東京)



概要 (株)トーセンが事業展開する地域の子供たち向けに林業と木材産業のことを知る啓発ツールとして、各種の情報を載せた学習帳を作成した。作成に当たっては、一流ノート会社と協力。一般市民の林業、木材産業への理解を醸成し、木材産業を支える人材として業界に入ってきてもらうことを視野に入れて新しいツールとして作成。

評価ポイント 学習帳という子どもになじみ深いツールを使い、地域の森林や木材の理解を促進し、人材発掘や育成にもつなげようという長中期的視野を持つ。企業プロモーションの面でも公益性や社会性の訴求に役立っている。

【費用(参加費・入場料など)】400円/部
 【体験・入手方法(連絡先)】入手・作成問い合わせ:FOREST MEDIA WORKS Inc.

ソーシャル | イベント・ワークショップ(単発) 入賞12
林業学習型のアウトドアフェス【ワンツーツリーフォレスト!】
 ワンフォレ実行委員会(愛媛)、内子町(愛媛)、内子町森林組合(愛媛)、ソルファオダスキーゲレンデ(愛媛)、(株)藤岡林業(愛媛)、(株)武田林業(愛媛)



概要 森林面積が8割の愛媛県内子町で、林業振興と町産材を使った木製品の普及、特に青少年への山林・森林との親しみを持つきっかけづくりを目的に、県立自然公園である小田深山渓谷の森林を活用し林業にまつわるアウトドアイベントを実施。木工体験、林業機械の操縦、きこり体験など、山林と触れ合う林業学習の機会を提供する。

評価ポイント プログラムはベシッ的な内容であるものの、地域おこし協力隊の人材育成、多様な主体が連携した取組として社会性がある点を評価した。プログラムの進化と充実に期待する。

【費用(参加費・入場料など)】入場料ひとり500円(未就学児以下は無料) ※会場内に一部有料の体験や物販あり
 【体験・入手方法(連絡先)】2017年8月27日(日)にイベント初開催。当日の様子はイベントは特設WEBサイトにて掲載。また2018年8月18日(土)・19日(日)に第二回の開催決定。連絡先:ワンフォレ実行委員会(0893-444-2123)

ハートフル | 仕組み・ネットワーク(生産・加工・流通・販売をつなぐもの) 入賞9
Forest on the Sea
 (特非)もりずむ(三重)、SAKUWOOD認証協議会(東京)、LEI SURF DESIGNS(神奈川)、(株)Andeco(大阪)



概要 国産材が従来使われていない、高品質が求められる嗜好品に国産材を使うことで、品質の高さが見直されて国産材の再評価に結びつけることを狙いとする。スタンドアップ・パドルボード(SUPボード)用パドルを杉材で作る木目の美しさ、粘り等の特性を再認識して杉材の普及拡大を図る。対象者はマリンスポーツ愛好者。

評価ポイント 海と森の繋がりを楽しみながら体感できる、コミュニケーションツールとしてのプロダクト開発である。新たな製品づくりとともに、スクール開催やメディア発信などを通じ、背景を伝える工夫がある。

【費用(参加費・入場料など)】木材費、運送料、デザイン・加工費などで合計160,000円
 【体験・入手方法(連絡先)】「LEI SURF DESIGNS」神奈川県藤沢市片瀬海岸2-18-25 0466-50-8673 代表:石坂健

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催) 入賞16

間伐材(越後杉)や地域材を使った雪板(ゆきいた)作り
Grain(新潟)



【費用(参加費・入場料など)】雪板ワークショップ(1日)20,000~25,000円(材料費、工具使用料込み)、フランスからのカット、磨き作業まで、別途ニス塗り、滑走面の溝切り加工は5,000円。別侯スノーフェスティバル参加費は1,000円。
【体験・入手方法(連絡先)】facebookページ(Grain)よりワークショップ及び製作販売は随時募集中。また冬場は試乗会を不定期で開催。メッセージより希望あれば、雪板の貸し出し及び試乗会も開催。

概要 子供を中心に雪板遊びや雪板作りを通じ、森と緑、自然の大切さを身近に感じてもらう。また高齢者の多い中山間地における冬場の地域住民と若者のふれあう機会を創出。冬場、別侯農村工房(旧別侯小学校)のグランドにて市内の子育て支援団体や地区子供会の子供たちに募集をかけ、雪遊びや雪板遊びのイベントを実施している。

評価ポイント 雪板は雪山で気軽に遊べる木製スノーボード。林業に携わる製作者が、地域材の活用と地元ならではの遊びを組み合わせ生まれたワークショップで楽しそうだ。多世代交流プログラムの役割も果たしている。

ソーシャル | イベント・ワークショップ(単発) 入賞13

街角見学会
幸和ハウジング(株)(静岡)、(株)フジイチ(静岡)



【費用(参加費・入場料など)】なし
【体験・入手方法(連絡先)】構造体見学会・完成現場見学会参加者なら参加可能

概要 新たに浜松で暮らす家族が早期に地域に溶込む為のイベント。建設途中の施主の建物を使う営業イベントで、食糧材で作ったミニ構造体を新たにこの地に住む施主の子供と興味だけで来場する近所の子供が力を合わせ組立てる。組立を通じ友人になり子供が繋がり親も仲良くなる。地産材を活用し地域を繋げ地域の絆を深めていく。

評価ポイント 建設中の現場を会場として移住者と地域住民の交流に活かした企画で、地域材への理解も促進する。初めて地域に住む子どもにとって、近隣の友達との接点構築にもなる。

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催) 入賞17

はんのうきときとひろば
ねんりんワークス(埼玉)、(株)ハンモク(埼玉)



【費用(参加費・入場料など)】
利用料200円(大人ひとり+子ども3人まで)ワークショップ100~500円程度
【体験・入手方法(連絡先)】開催時間に自由に来場
(月・木 9:30~15:00 祝休 予約不要・ワークショップ予約優先)

概要 健やかな子どもの成長と地域産業の活性化に役立つ適切な木材利用を目指した、未就園児対象の親子サロン。西川材のつみきや国産材の玩具での自由遊びの他、簡単木工ワークショップを提供している。サロンは西川材で建てられた日本家屋にあり、木造建築の優美さと快適さを体感できる癒しの木育空間になっている。

評価ポイント オープンから3年目を迎え、未就園児だった利用者が小学生になり、対象を拡張したプログラムを展開。継続性ならではの効果で、こうした取組においては重要なポイントである。

ソーシャル | イベント・ワークショップ(単発) 入賞14

次代の木使いを拓く若者による「配架台」の製作
静岡県(静岡)



【費用(参加費・入場料など)】なし
【体験・入手方法(連絡先)】「配架台」は、静岡県庁の県民サービスセンターや秘書課、副知事待合室、その他東館各フロアの執務室入口に計11台を設置。来庁者は「配架台」と触れ合い、県産材の魅力を感じることができ

概要 来庁者に静岡県産材の魅力を伝えるとともに、森林認証材の認知度向上を図るため、花やパンフレット等を置く「配架台」を、森林認証の県産材で製作し、県庁各所に設置した。「配架台」は、デザインコンテストで最優秀賞に選ばれた高校生が構造設計を決め、特別支援学校の生徒が木のぬくもりを感じながら組み立てた。

評価ポイント デザインから伐採、製材等の現場見学、構造設計や組立までプロの指導・協力を経て完成した配架台。プロセスが細部にわたって丁寧な構成されており、多様な分野へ横展開が可能だ。

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催) 入賞18

あつまれキッズデザイナー
(公社)日本インテリアデザイナー協会(東京)



【費用(参加費・入場料など)】ワークショップ参加費5,000円(松材、木工ジョイント金具、アクリル絵の具、テキスト含む)、企業協賛1口10,000円、作品展示会入場料は無料
【体験・入手方法(連絡先)】日本インテリアデザイナー協会ホームページに設置してあるキッズデザインワークショップ参加申し込みフォームでの申込。キットのみの販売は、日本インテリアデザイナー協会事務局へ直接電話連絡。

概要 紀州産松材の板5枚を組み合わせ、マイチェア又はマイテーブルを親子で組立てる。マイチェアは使う人・状況などを考慮し自分のデザインに合う座面・背板の高さを決め組立。組立後オリジナルデザインを赤青黄白黒の5色の絵具で色を作り着色。完成した作品を他の参加者の前で発表。制作した作品は会場に展示。

評価ポイント ユーザー目線でデザインすることは、木製品開発においても最も大切な部分。自分がユーザーならどういった家具が欲しいか、それを考えデザインすることを教えられる。

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催) 入賞15

6歳になったら机を作ろう!
6歳になったら机を作ろう!委員会(東京)、ばうむ(合同)(高知)、山番LLP(高知)、アクトインディ(株)(東京)



【費用(参加費・入場料など)】木こり・間伐体験:2,000円/組、学習机作り体験:58,000円/台(開催地によって変更あり)
【体験・入手方法(連絡先)】子供とおでかけ情報サイト「いこーよ」の「6歳になったら机を作ろう!」のページから事前予約が必要
<https://iko-yo.net/topics/desk>

概要 のごぎりを使って間伐し、切った木で学習机を作るイベントを企画運営。山から材料を調達し机が完成するまでを、実際に見て、触って、加工して、組み立てまで体感できる。親子の絆を深め、物を大切に使う心を育み、山と山を守る人のおかげで豊かな生活がある。おかげさまの心を育む。100組以上の親子が参加、今後も各地に広げていく。

評価ポイント 親子のお出かけサイト「いこーよ」との連携企画で木との触れ合いや机づくりのツアーを取り入れた点はとても意味がある。学び、体験、交流を合わせ持つプログラムも良質。

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催)

入賞22

みんなで建てる日本の木の家～次世代につながる木育ワークショップ～
(特非)もく(木)の会(大阪)

概要 日本の木の家の構造を理解してもらうために実物の2分の1の大きさのミニチュアハウスを作製、さらに断熱材の入れ方や自然素材の壁仕上げが分かるように取り外しができる壁見本や建具も作り、環境のことも含めて小学生を対象としたワークショップを行ったり、高校や専門学校で出前授業を行っている。

評価ポイント 女性建築士ネットワークが継続しているワークショップで、実物の2分の1モデルはリアルティがある。小学生から高校生まで幅広い対象に、木の家の構造と省エネ対策などの学びを伝えている。

【費用(参加費・入場料など)】参加費は原則無料だが、イベント会場などへの運搬について運搬費や車での運搬等の負担が必要。今後の活動のために補修費用として、300円程度の参加費を検討中。
【体験・入手方法(連絡先)】NPO法人もく(木)の会事務局 06-6615-5117 info@mokunokai.jp

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催)

入賞19

積水ハウス エコ・ファースト パーク内「森の教室」
積水ハウス(株)(東京)

概要 森の教室は、小学生らに木材が持つポテンシャルの高さを体感してもらう場所。学校の教室をイメージしたエリアでは、日本の森林の特徴や木材のリサイクルの仕組みなどを講義形式で学び、実験コーナーでは、廃木材のリサイクル工程やバイオマス発電の仕組み、国産材にカンナがけしたものの香りを嗅ぐ体験などができる。

評価ポイント 座学、見学、実学から森林、木材、リサイクルなど木の一生と循環を学ぶ教室。身近な素材である木材をさまざまな形で価値あるものに変える技術や科学が満載である。

【費用(参加費・入場料など)】施設の見学(入場料)は無料
【体験・入手方法(連絡先)】ホームページから見学申込みを行うことで誰でも参加可能。
<http://www.sekisuishouse.co.jp/efp/index.html>

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催)

入賞23

OGUNI-SUGI POP UP TABLE

(株)地域科学研究所(大分)、小国町森林組合(ASO OGUNI-SUGI LAB)
(熊本)、三木佐藤アーキ(北海道)

概要 ワークショップは、作り手の創意工夫により、木材の低かった価値を向上させ、地域のにぎわいにもなる企画として実施。色とりどりの木のかげらをはめこんで作るテーブルができた。天板と脚は別々になっているので、持ち運びも楽。マーケットに、キャンプに、アウトドアで活躍する。

評価ポイント 成果物であるテーブルのデザイン性がとても高い。アートや工芸的な要素を合わせ持つ創造性溢れるワークショップだ。温泉地の活性化と一体となって開催している点も高評価。

【費用(参加費・入場料など)】ワークショップ参加費35,000円(材料費、加工費、講師料込)、小売販売価格:76,800円(完成品1台)
【体験・入手方法(連絡先)】小国町森林組合(ASO OGUNI-SUGI LAB)熊本県阿蘇郡小国町宮原1802-1 0967-46-2411 <http://ogunisugi.com/>

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催)

入賞20

遠州バザール

(株)鈴三材木店(静岡)、(株)しずおかオンライン(静岡)



概要 「衣・食・住で地産地消!」をテーマに、地元遠州の中小企業・個人事業主が約200社集結して地元産業の魅力や消費者に伝えている。さらに、出展者グループによる地元建築業界の連携強化で、「住」から地産地消を推進し、地元の「衣・食」業種や消費者をも巻き込み共に発展していくことで、地域の活性化を目指す。

評価ポイント 材木店が中核となり、工務店と連携して地産地消系のイベントを行う面的アプローチが素晴らしい。地域の衣食住すべてが関わり、マーケティング活動のプラットフォームをつくりだした。

【費用(参加費・入場料など)】入場無料

【体験・入手方法(連絡先)】毎年秋に、2日間に渡って浜松市総合産業展示館にて開催。問い合わせは、遠州バザール実行委員会(鈴三材木店内)053-585-1000

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催)

入賞24

木育・森育楽会

(特非)木づかい子育てネットワーク(東京)



概要 木や森の教育に関心を持ち、行動しようとする実践家、教育者、研究者、団体、企業など全国のアクターに向けて、「木育・森育楽会」を企画、実施するとともに、「木育・森育楽会誌」を発刊し、会員に向けた情報発信にも取り組み、木育・森育の推進の担い手育成、市民の理解の深化を「楽しみながら」目指している。

評価ポイント 木と森からアート、デザイン、子育て、医療などサブテーマへの展開を見据えたプログラム構成を持ち、ここを入口に多様な木づかい、森の活用への広がり期待できる。

【費用(参加費・入場料など)】なし
【体験・入手方法(連絡先)】木育・森育楽会ホームページ申し込みフォームより参加可能

ソーシャル | イベント・ワークショップ(定期開催)

入賞21

「森と人の物語」推進プロジェクト木育編

名城大学建築学科谷田研究室(愛知)、下呂市(岐阜)、(特非)森のなりわい研究所(岐阜)



概要 本プロジェクトは、下呂と名古屋が川で結ばれた「ひとつつながりの街」との認識のもと、下呂の森から始まる、下呂から名古屋、名古屋から下呂へと、こと・もの・ひとの行き来を目指したプロジェクト。下呂の木材を使用したワークショップを軸に、ものづくりや森づかいを通して、素材との新たな出会いや楽しみ方を創造する。

評価ポイント 林業地域と大都市を結び、デザイン性の高いワークショップを作りあげている点を評価した。木材という素材の魅力を大切にしたい、温かみあるツールも好感が持てる。

【費用(参加費・入場料など)】無料(緑の募金を実施)
【体験・入手方法(連絡先)】不定期で年4回程度実施予定

ソーシャル | 普及・啓発(ツール・メディア)

入賞28

森を育む割り箸です。

(株)北海道アルバイト情報社(北海道)



概要 北海道産間伐材割り箸BOX。北海道下川町の白樺間伐材でつくられている元禄割り箸を、パーティー用50膳BOX、マイ割り箸用5膳BOXとして作成し、主催イベントで利用したり、協賛イベントでノベルティ的に配布している。間伐材の有効活用を実践しながら、すべての人たちにその意義を伝え続けている。

評価ポイント ノベルティとして製作された割り箸だが、ロックフェスティバルで配布するなど若者への訴求は重要な点。パッケージデザインも思いがダイレクトに伝わる洗練されたもの。

【費用(参加費・入場料など)】ノベルティ的に配布するので無料
【体験・入手方法(連絡先)】主催・協賛イベントなどで提供・配布するので、決まった場所・日程で入手はできない

ソーシャル | 普及・啓発(システム)

入賞25

住まいるCHANCEネットワーク

東京中央木材市場買方組合(千葉)、東京中央木材市場(株)(千葉)



概要 国産材を活用した家づくりを推進するためには、地域の木材販売店及び工務店・建築士等それぞれが、いかにユーザーの窓口になれるかが重要なことであり、それをつなぐのが、「住まいるCHANCEネットワーク」。生活空間の中で、「木材を主役にする」為の活動を行っている。

評価ポイント 木材買付ツアーに施主を招いたり、木材市場内の内外装材製品展示で実見できるなど、国産材活用住宅と消費者との接点をそれぞれの専門性から構築している点が素晴らしい。

【費用(参加費・入場料など)】無料
【体験・入手方法(連絡先)】木材販売店経由にて、木材市場での体験や木材製品の購入可能

ソーシャル | 普及・啓発(ツール・メディア)

入賞29

日本の木の手帳

北三(株)(東京)



概要 会社PRの販促ツールとして、いつも身近に携えていただける手帳やノートを毎年樹種を変えて制作。2017年の手帳には東京都産と埼玉県産のヒノキツキ板を使用し、グラデーション加工を施して美観を高めた表紙にした。顧客や展示会来場者をメインに配布し、ウェブサイトでも一般の方にも抽選で発送した。

評価ポイント 身近に置いて使いたくなる木製手帳で、木材の魅力をダイレクトに伝えるツールになっている。話のきっかけになりそうな存在感のあるアイテムで、毎年の樹種の違いを楽しめるなど継続的な取組がよい。

【費用(参加費・入場料など)】
【体験・入手方法(連絡先)】北三 https://www.hoxan.co.jp/contact/form_mail/

ソーシャル | 普及・啓発(ツール・メディア)

入賞26

みんなの家・つみきの家

(株)日本ハウスホールディングス(東京)



概要 本提案は玩具では無く、「コミュニケーションツール」である。当社構造柱の檜を材料とし、住宅に使用される木材(大きさや手触り、香りなど)を知ってもらいと共に間取りをレイアウトできる事で家族全員が家づくりに参加するきっかけを与える。また、当社が日頃から訴求している「環境共生」を考慮するためのツールでもある。

評価ポイント 住まいづくりに子どもが参加できるためのツールを開発。檜柱材の端材を利用した積み木キットで試行錯誤をするうちに、住みたい家の間取り、木材の手触りや香りに触れられ、木の家を再認識する契機を与えてくれる。

【費用(参加費・入場料など)】当社折衝客が対象、参加費無料
【体験・入手方法(連絡先)】日本ハウスホールディングス全国支店・営業所

ソーシャル | プロモーション(定期開催)

入賞30

寺子屋型住宅展示場「高岡の家」

(株)ミヤワキ建設(富山)



概要 寺子屋型住宅展示場とは、地域の人々が主体的に積極的に利用するオープン型の住宅展示場。向学心ある地域の人達の活動拠点として「○○をやりたいんだけど」と言われた時に「どうぞ、どうぞ」と貸出しており、すでに190回以上・のべ約1,000人の方がイベントで来場された展示場の運営スタイルである。

評価ポイント 味噌づくりや食育セミナーなど子育て家族が気軽に参加できるイベントがよい。赤ちゃんとも母親が使えように場を開放するなど、地域の交流サロンとして機能しており、子育て層の孤立化防止にも役立つ取組と言える。

【費用(参加費・入場料など)】イベントを企画・実施するにあたり住宅展示場の利用料は500円~1,000円/日。イベントに参加される方は無料~500円(イベント内容により異なる)。
【体験・入手方法(連絡先)】連絡先はミヤワキ建設(0766-26-2581)。イベント開催のお知らせはミヤワキ建設ホームページ(<http://www.miyawakihome.com/>)にて告知。

ソーシャル | 普及・啓発(ツール・メディア)

入賞27

菊丸のとっても木になる啻

(株)オオコーチ(三重)、三重テレビ放送(株)(三重)



概要 夕方の情報番組内で視聴者に、森林環境・木材活用を取り巻く課題に、三重県で克服する取組みを取り上げ紹介することで、木の良さを認識してもらったり、木を身近に感じてもらい、木を使うことへつながっていくるように、わかりやすく伝えるコーナー(約10分~15分)。

評価ポイント テレビ番組内の情報コーナーで、多面的な森林・木材の多彩なテーマをエンタテインメント性も合わせて提供している、ユニークかつ貴重な取組。視覚で訴えるコミュニケーションの利点を感じる。

【費用(参加費・入場料など)】視聴無料
【体験・入手方法(連絡先)】三重テレビ視聴可能エリア内において
毎週月曜~金曜18:00~生放送。情報番組「とってもワドキ!」内月1回木曜コーナー番組。

ソーシャル | ビジネスモデル

入賞34

FSC®認証木材及び地域木材による製品作りネットワークの構築

(株)サンニチ印刷(山梨)、(株)ガイエンス(東京)、(有)古屋製材所(山梨)、(有)東林業(山梨)、(有)都留工芸(山梨)、(有)遠山木工(山梨)



概要 山梨県は県土の78%が森林であり、FSC®認証森林の面積は14万3千haと日本最大の面積を誇る。一方、FSC®認証材や地域産材を製品化する仕組みは万全ではなく、製品化が進まない状況であった。流通と保証体制を整えたネットワークの構築と、製品としての「見える化」を狙いプロジェクトを立ち上げた。

評価ポイント 緩やかなネットワークづくりにより多様な主体の参画を促進し、認証材・地域材の需要拡大を図っている。地域と専門事業者との連携の好例。

【費用(参加費・入場料など)】ネットワークに参加するための経費は特になし。FSC®認証を取得していることを重要視。製品に関しては保育園や小学校を除き、公共施設への設置が多いため無料で利用可能。

【体験・入手方法(連絡先)】山梨県清里の森(山梨県北杜市高根町清里3545-1)、山梨県森林公園金川の森(山梨県笛吹市一宮町国分1162-1)、埼玉県坂戸市入西地区高麗川左岸(埼玉県坂戸市中里)

ソーシャル | ビジネスモデル

入賞35

みんなでつくるモデルハウス「TOKYOSTYLE」

(株)中島工務店(東京)、(合同)つみぎ設計施工社(千葉)、(一社)日本フローリング工業会(東京)、小隣友子建築設計事務所(東京)



概要 日本で初めて『モデルハウスをみんなでつくる』ことに取り組んだ。都市部で暮らす住まい手と共に『みんなでつくる』を通じて、ものづくりの楽しさに触れながら、日本の森林や国産材を身近に感じて貰う体験型プロジェクト。住まい手が、自ら施工を体験すると共に、職人衆の手仕事を間近で観て・触れる機会になった。

評価ポイント 見るモデルハウスから、つくるモデルハウスへと文脈を変えることで木材や住まいへの理解を促進する、参加型・協働のプロジェクト。完成後はワークショップなどを開催するコミュニティの場として機能している点もよい。

【費用(参加費・入場料など)】みんなでつくるワークショップ:無料(150名以上)

【体験・入手方法(連絡先)】「施工体験」フローリング貼り・ウッドデッキ塗装・左官塗・庭造り・ミツロウワックス塗り・薪小屋づくり、「フィールドワーク」加子母ツアー

ソーシャル | ビジネスモデル

入賞36

リフォーム+DIY お施主様参加型リフォーム

ニッカホーム(株)(愛知)、ニッカホーム中部(株)DIY事業部(愛知)



概要 商業施設、自治体や企業のレクリエーションなどでDIYワークショップ開催。その他リフォーム工事を検討していない将来的な潜在客に対しても活動をアピール。主に間伐材を利用したDIY向け木材や建材を積極利用し、国内の森林問題やDIYリフォームがもたらすメリットや楽しさを直接伝える機会を定期的に設けている。

評価ポイント 施主参加型のリフォームは今後もトレンドになると考えられ、DIYの楽しさとの組み合わせでより魅力的なプログラムになった。自ら手を加えることで愛着も増し、そこに専門家のノウハウも活きてくる。

【費用(参加費・入場料など)】特になし

【体験・入手方法(連絡先)】ニッカホーム中部 DIY事業部 プロジェクトリーダー:川本和人 0568-42-6850 diy@nikka-home.co.jp

ソーシャル | ビジネスモデル

入賞31

国産材を使い続ける仕組みを活用したスギ花粉環境改善への取組み

タマホーム(株)(東京)



概要 日本の森林は利用期を迎えているにも関わらず、木材自給率は低い。一方で、戦後の拡大造林により植林されたスギが伐採されないまま放置され、近年のスギ花粉症問題の要因となっている。木造住宅を提供する企業として、国産スギ材を多く使い、花粉の少ない苗木を植林支援することで、花粉発生源対策への取組みを開始した。

評価ポイント 花粉症対策という現代の課題に向き合い、1棟につき10本の木を植えるという参加型、かつ資源の持続的利用を意識した取組で独自性がある。時間を価値に変える視点が木材への理解をなお促進させる。

【費用(参加費・入場料など)】無料

【体験・入手方法(連絡先)】タマホーム工務本部購買部木材建材課

ソーシャル | ビジネスモデル

入賞32

官・民・民による地域型CSVエコシステム【地方創生×国産材利用】

古河林業(株)(東京)、セヶ宿町(宮城)、ニチハ(株)(愛知)



概要 セヶ宿町における「地域担い手づくり支援住宅」事業をベースにした、同町、ニチハ、古河林業協働による、CSV(Creating Shared Value)プロジェクト。セヶ宿町の若手定住に向けた住宅建築に際し、国産材利用とCO2クレジット提供を通じ、地方創生、林業活性化、環境保全を同時に実現した。

評価ポイント 官・民協働による地方創生と国産材利用を通じた住宅供給で環境貢献性も高い。地域への定住促進にこうした視点を取り込むことで担い手の意識も地域や環境、林業にさらに向けられる。

【費用(参加費・入場料など)】特になし

【体験・入手方法(連絡先)】セヶ宿町(農林建設課)、ニチハ(調査部)、古河林業(統括管理部)

ソーシャル | ビジネスモデル

入賞33

ウッドディーラー豊田

ウッドディーラー豊田(愛知)、豊田市(愛知)、(株)小野デザイン事務所(愛知)、(株)古川ちいきの総合研究所(大阪)、豊田市地域材利用拡大プロジェクト(愛知)



概要 豊田市では、森林資源の有効利用と適正な人工林の管理を促進するために、地域材の利用拡大や地産地消の実現に向け、地域材のマーケティングを企画するWSを実施し、地域の木材流通の現状調査、コンセプト、ブランディング、商品開発、推進体制に至るまで検討し、木のディーラーである「ウッドディーラー豊田」を設立した。

評価ポイント 中間支援機能を構築し、地域材のブランディングを促進している。森林ツアーや家具・グッズ・DIY、工務店対応までワンストップの窓口があることでアクセスはかなり容易になるだろう。

【費用(参加費・入場料など)】講演会、ワークショップ等の参加費:無料

【体験・入手方法(連絡先)】ウッドディーラー豊田事務局(愛知県豊田市前山町5-19-11-101) 0565-36-0590 info@woodealer.jp

ソーシャル | 仕組み・ネットワーク(生産・加工・流通・販売をつなぐもの) 入賞40

木材利用システム研究会

木材利用システム研究会(東京)



概要 木材利用拡大を目指し、木材関連団体・企業、大学等の研究者、行政関係者の真の連携プラットフォームとして設立され、月例研究会や研究発表会を定期的に開催している。木材利用に関する啓発活動、マーケティング課題解決、行政施策立案、研究企画に資すると共に、参画企業によって木材利用拡大が進められている。

評価ポイント 普及啓発から人材育成、技術開発支援など多角的な木材利用の推進を実施しており、国産材需要拡大に貢献している。木力検定や東京大学の寄付研究部門の設置など、常に裾野を広げる活動は素晴らしい。

【費用(参加費・入場料など)】非会員の月例研究会参加費は3,000円
【体験・入手方法(連絡先)】月例研究会等の案内は、ホームページで一般に公開。参加申し込みや新入会については、研究会事務局info@woodforum.jpへのメールで随時受付。

ソーシャル | 仕組み・ネットワーク(生産・加工・流通・販売をつなぐもの) 入賞41

里山の循環とふるさとの再生一里山のコト・モノ・ヒトづくり

(一社)アシタカ(岡山)



概要 地域の温浴宿泊施設に薪ボイラを導入したことをきっかけに、住民主導で薪の燃料供給の仕組みを作り、経済の地域内循環を作り出した。また、里山資源を活用した特産品開発、企業CSRや教育旅行の受入れ、人材育成等に取り組む。住民が共同伐採を行っている広葉樹林は、萌芽更新による30年サイクルの森づくりを目指す。

評価ポイント 薪ボイラの導入を入口に、小さな生業の創出を行い地域活性化や人材育成へつなげた良質なモデル。高齢者の登用やなりわい塾の成果としてのU・Uターン者の増加など、人を中心とした展開が魅力的である。

【費用(参加費・入場料など)】薪ボイラを設置する津黒高原荘への宿泊や日帰り温泉利用は実費負担。薪土場の見学や里山整備の体験活動、特産品の購入等については、一社アシタカまで問い合わせ。
【体験・入手方法(連絡先)】津黒高原荘(宿泊・日帰り温泉利用)0867-67-2221 (一社)アシタカ(薪土場の見学・特産品の購入等)090-6832-7109

ソーシャル | 仕組み・ネットワーク(生産・加工・流通・販売をつなぐもの) 入賞42

地域材と木造住宅施工技術の台湾輸出

(株)棟匠(茨城)、(株)林産(茨城)、もっくりん協同組合(茨城)



概要 快適性や健康面に配慮して構造材から内装材まで無垢材をふんだんに使用し、気密断熱性能などの付加価値を持った日本の木造住宅は台湾においても需要が高い。自社グループ製材工場で製材・加工を施した部材と施工技術を合わせて輸出することで、木造住宅の普及が遅れている台湾において高性能な日本の木造住宅の建築を実現した。

評価ポイント 健康住宅づくりの強みを活かして、地域の工務店が海外輸出を推進しており、技術移転も視野に入れた木材利用のグローバル展開として評価した。

【費用(参加費・入場料など)】特になし
【体験・入手方法(連絡先)】棟匠 029-227-1040

ソーシャル | ビジネスモデル

入賞37

森林再生を実現するサプライチェーンと美しい木質住宅「田園都市の家」構想

伊佐ホームズ(株)(東京)、森林パートナーズ(株)(東京)



概要 地域工務店と林業家、製材所やプレカット工場の連携による6次産業化で、合理的な加工と流通、トレーサビリティと透明な価格を実現し、材を求める工務店と出材を希望する林家とをコーディネートする新たな国産木材流通の仕組み「森林再生プラットフォーム」を構築し、工務店が安心して注文できる国産木材流通を確立。

評価ポイント 木材流通のマッチング・コーディネート機能に加え、付加価値を高めた住宅モデルを提案することで、安定した国産材流通を後押しする社会提案性の高い取組。

【費用(参加費・入場料など)】森林パートナーズに問い合わせると、関係資料を送付。現在、森林パートナーズのホームページを構築中で、2017年12月中にはホームページ上に関係資料を公開。
【体験・入手方法(連絡先)】森林パートナーズが運営する「森林再生プラットフォーム」に加盟いただき、年会費とプラットフォーム利用料を納めると利用可能。

ソーシャル | 仕組み・ネットワーク(生産・加工・流通・販売をつなぐもの) 入賞38

結の森プロジェクト

コクヨ(株)(大阪)、(株)カウネット(東京)、四万十町森林組合(高知)、高知県(高知)、四万十町(高知)、高知県立四万十高等学校(高知)



概要 日本の森林課題解決への本質的・長期的な貢献。コクヨは四万十町大正地区の間伐活動費用などを11年に渡り支援。民有林の間伐を進め、FSC® FM認証を取得すると共に集成材に加工し、多種製品化を実現。加えて地域の雇用創出、後継者育成、社員・地元高校生の啓蒙活動など、結の森を通じて環境と経済の好循環を目指す。

評価ポイント 商品開発から人材育成、普及啓発まで多角的に実施している企業の地域と連携した実績ある事例。継続性が素晴らしく、参加者の学びや理解、学習といった副次的効果も特筆すべき成果である。

【費用(参加費・入場料など)】該当なし
【体験・入手方法(連絡先)】現地での体験:四万十町森林組合大正集成材工場(高橋)、製品:コクヨ(齊藤)

ソーシャル | 仕組み・ネットワーク(生産・加工・流通・販売をつなぐもの) 入賞39

「木本(きほん)【宮崎編】」+「みやざき市場〜めぐる木のめぐみ〜」+「木本ツアー」

宮崎県(宮崎)、(株)内田洋行(東京)、(株)良品計画(東京)



概要 森林をはじめとする豊かな自然、風土、地域に根ざした産業、地域の暮らしやそこで生き生きと生きる人の姿を含め、それらを一につなぎ物語りとして都市部の企業や消費者へ訴えることがスギ材の利用促進に有効と考え、これらを伝えるための「木本【宮崎編】」と、「みやざき市場」と、「木本ツアー」を企画した。

評価ポイント 冊子、店舗、ツアーと地域に根差した物語を消費者、連携事業者へ多面的に伝えており、背景に気づいてもらうことで、参加者は、そのモノをリアルな言葉で語れるようになる。当事者化は伝えるための原点である。

【費用(参加費・入場料など)】木本(冊子):無償配布、みやざき市場(イベント):入場無料、木本ツアー:実費
【体験・入手方法(連絡先)】県庁、東京事務所などの県外事務所

ソーシャル | 仕組み・ネットワーク(生産・加工・流通・販売をつなぐもの) 入賞43

富士の森未来プロジェクト (FUJI HINOKI MADE)

富士地区林業振興対策協議会(静岡)、富士ひのき加工協同組合(静岡)、(株)ランバーリング・カツマタ(静岡)、影山木材(株)(静岡)



概要 適正な森林管理や森林資源の持続的な循環利用を通じ、富士山の環境保全へ貢献するとともに、「富士ヒノキ」の需要拡大を図るため、地域の森林・林業・木材産業関係者が連携し、販売戦略を構築するプロジェクトを開始。富士山麓のヒノキ製品のブランド「FUJI HINOKI MADE」を立ち上げた。

評価ポイント 幅広い主体が参画した協議会でブランド化を進め、品質担保や製品のバリエーションを拡大させている。シンボル施設の建設を契機にしたPRが期待される。

【費用(参加費・入場料など)】関係者の参加費、入場料等に係る費用負担なし
 【体験・入手方法(連絡先)】フジヒノキメイド有限責任事業組合 0545-67-3650(電話)
 0545-67-3651(FAX) fujihinoki_made@fuji-hinoki.jp

ソーシャル | 仕組み・ネットワーク(生産・加工・流通・販売をつなぐもの) 入賞44

日本の森がもっとワクワク

飛騨五木(株)(岐阜)



概要 森林に特化したポータルサイト。森に関わる特集などの記事を配信するメディア機能をはじめ、山林売買や自然に囲まれた宿泊施設の検索・予約機能、木製品を中心とした商品のお買い物ページ、森に関係する就職支援まで幅広く対応しており、森に関わるあらゆるサービスの提供を目指した取り組み。

評価ポイント 建材メーカーが母体となり、全国の森林と関係者を多角的に繋ぐ仕組みがユニーク。フリーペーパーや実店舗との連動も広い対象に訴求でき、よいアイデアだ。

【費用(参加費・入場料など)】無料で会員登録可
 【体験・入手方法(連絡先)】<https://moriwaku.jp/>

ソーシャル | ワークショップ(人材育成) 入賞45

人材発掘・育成でさがつく木のインテリアデザイン

佐賀県農林水産部林業課(佐賀)



概要 森林資源の循環利用を進めるためには、森林から生産される木材を適切に利用することが必要である。本県では、木材利用のPRや魅力的な木造建築物を提案する人材が不足していることなどから、その利用が十分でない状況である。このため、デザイナー等の発掘・育成を図りながら商業スペース等のリノベーションに取り組んだ。

評価ポイント 大工、工務店、家具製作と著名デザイナーが参画し、ワークショップを通じて実際のリノベーションとともに人材育成を図る取組である。各人材のネットワーク化によって木材利用の相談窓口として機能することが期待できる。

【費用(参加費・入場料など)】リノベーション物件募集費用:32,000円、リノベーション物件の設計・管理費用(3物件):8,834,000円、ワークショップ開催費用:1,015,000円、広報費用(パンフレット作成、除幕式):1,011,000円
 【体験・入手方法(連絡先)】佐賀県農林水産部林業課林産振興担当0952-25-7133